

平成28年度 上下水道部 方針書

上下水道部長 佐藤 亮

1. 部の使命（役割）

健全な水循環系を構築するため、安全な水の安定供給と、適正な生活排水処理による公共用水域の水質保全

2. 平成28年度における課題（前年度の振り返りから）

- ・集落排水事業の地方公営企業法適用に向けた取り組みの推進
- ・「横手市水道事業ビジョン」に基づく施策の展開と進捗管理
- ・「横手市下水道中長期ビジョン」及び「横手市生活排水処理構想」に基づく施策の展開と進捗管理

3. 平成28年度の『スローガン』

お客様目線で、効率的な運営とサービスの向上を目指そう

4. 年度目標となる方針（目標）

- ・上下水道事業の経営健全化と安定した事業運営の推進
- ・水道施設の計画的な整備と安全で良質な水道水の安定供給
- ・生活排水処理施設の計画的な整備と、持続可能な排水処理システム構築への取り組み

5. 重点取組項目

(1)	項目	上下水道事業経営戦略の検証
	取組内容	・経営戦略に掲げた課題への取り組みの推進及びその状況の整理 ・投資・財政計画の進捗と計画の確認及び今後の見通しの作成
(2)	項目	水道事業計画(変更)の策定と給水安定性向上
	取組内容	・水道事業ビジョンの施策を事業計画(変更)へ反映 ・老朽施設の計画的な更新及び耐震化の推進 ・水安全計画に則った施設管理及び水質管理
(3)	項目	持続可能な排水処理システムの構築に向けた取り組み
	取組内容	・生活排水処理施設のストック点検・調査計画の検討と、アセットマネジメントに向けた取組み ・公共下水道(雨水)施設等のストック点検・調査計画の検討と、都市浸水地域の把握 ・各種災害時における業務継続計画(BCP)策定に向けた取組み

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況【現状】

- ・水道及び下水道事業ビジョン、整備構想やH27決算を反映した投資・財政計画の見直しを作成した。現段階では経営戦略における投資・財政計画を変更するまでには至らないと考えている。
- ・集落排水事業の公営企業法適用に向け、資料の作成及び整理、スケジュール検討を行った。
- ・横手・大森・山内の各地域で有収率向上に向けた水道漏水調査を実施した。また、水道事業計画の策定に向けた検討協議を重ねている。
- ・生活排水処理構想の長期計画を策定し、中期計画と合わせた全体構想を10月に公表した。
- ・生活排水処理施設及び雨水施設等の現況調査を実施し台帳化の作業中である。また業務継続計画策定のためのプロジェクトチームを組織し、計画策定に向けた検討を重ねている。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

- ・集落排水事業の公営企業法適用に向けた庁内協議及び移行作業を計画的に進め、法適用の方向性を決定する。
- ・水道事業計画策定に向けた業務委託等の実施と詳細打合せ等進捗に注力する。
- ・漏水調査結果による漏水箇所への対応強化を図る。
- ・生活排水処理施設等のストック点検を継続し、長寿命化に向けた点検調査計画の策定作業を進める。
- ・各種災害時に対応できるよう事業継続計画を着実に完成させる。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

(1) 上下水道事業にかかる経営戦略の検証

・投資・財政計画の変更は必要なしと判断したが、今後とも計画への影響が想定される整備計画や執行見込を常に把握し続ける必要がある。また、集落排水事業の公営企業法適用を平成30年度から実施することで作業スケジュールを示し了承を得た。次年度は法適用に向けた移行作業を着実に進める。

(2) 水道事業計画（変更）の策定と給水安定性向上

・水道ビジョンを反映させた水道事業の変更計画策定に2カ年計画で着手した。整備計画等、具体的な将来像を示す必要から慎重に進めたため進捗率は25%程度にとどまった。次年度は作業スケジュールを再考し重点的な作業進捗を図る。水質管理や施設管理については、適正に進めており安心安全で良質な水の供給が図られている。

(3) 持続可能な排水処理システムの構築に向けた取り組み

・生活排水処理構想の長期計画を策定し、中期計画と合わせた全体構想を10月に公表した。次年度より中長期計画の実行に向けた事業展開を図る。また、下水道や雨水等のストック点検調査計画等各種計画を策定した。また、事業認可変更に向け、管路更新事業の国補助を目指したストックマネジメント計画簡略版を策定し、財源確保の目途を立てた。